

# 古塩まさよし

後援会だより

Vol. 10 2022年 春号

〒252-1124 綾瀬市吉岡 3344  
http://www.m-koshio-ayase.jp  
Email:koshio858@jcom.zaq.ne.jp



## 令和4年度の主な取り組み

古塩 政由

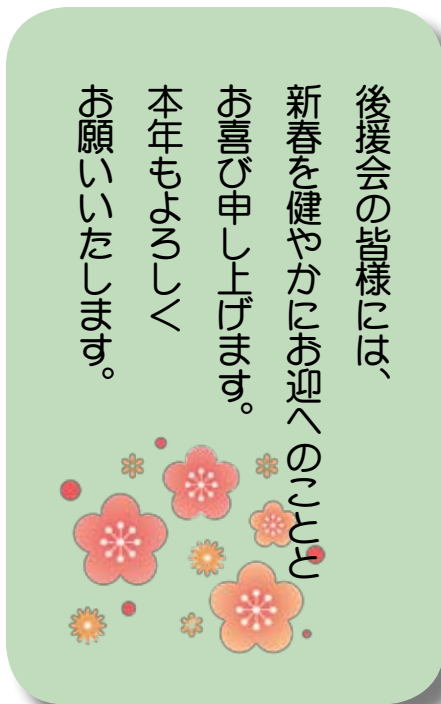
後援会の皆様には、

新春を健やかにお迎へのごこと

お喜び申し上げます。

本年もよろしく

お願いいたします。



### 《コロナ対策》

昨年暮れには、新型コロナウイルスの感染者が徐々に減少し、落ち着ぎを取り戻したかに見えましたが、今年に入ってからオミクロン株による感染者が急増し、全国に拡大してしまいました。神奈川県では1月21日から「まん延防止対策等重点措置」がスタートしました。

改めてマスクの着用、三密の回避など、基本的な対策の徹底を行うとともに、3回目のワクチン接種を急ぐ必要があります。綾瀬市のワクチン接種ですが、1月から医療従事者などのエッセンシャルワーカーに接種を始め、2月1日から65歳以上の方を、2回目接種完了から8か月を過ぎた方から順に接種を行っています。

順次、7か月、6か月と期間を詰めていき、なるべく早く接種が終わるようにしていきます。

また、沖縄県や山口県の米軍基地が発生源となり周辺自治体へ感染が拡大したとの報道がありました。厚木基地を含む神奈川県内では、基地から感染が拡大した様子は見受けられませんでした。確認のため、厚木基地を訪問し、司令官から基地内の感染対策の説明を受けるとともに、私からも対策の徹底を申し入れました。

### 《令和4年度当初予算案 編成見通し》

4年度の見込まれる一般会計予算の規模は、コロナウイルス接種事業や施設の老朽化などによる小中学校

の改修、光綾公園の再整備などにより、3年度当初予算281億3千万円よりかなり増額となる見通しです。  
歳入面では、個人市民税や法人市民税の増額を見込んでおり、市税全体では3.5億円の増収となる見込みです。

今後安定して行政サービスを提供し、市民生活を守るためには、既存事業の見直しを行うとともに、優先的に取り組むべき施策へ重点的に予算を配分する必要があります。加えて、コロナ後を見据えて、市民活動や経済活動を支援する施策についても検討していきます。

### 《令和4年度 主な新規事業》

#### ▼都市づくり

市の中心市街地に多くの人を引き寄せ、新たな賑わいを生み出すため、消防庁舎跡地と既存の大型



商業施設エリアを一体的に活用して、商業施設を誘致します。併せて、隣接する図書館や文化会館の再編に向けた検討を始めます。

工業系市街地の整備では、早川中央地区において、令和4年度から土地区画整理組合による工事が始まり、令和6年度の完成を目指してまいります。

また、道の駅の整備につきましては、土地の問題で事業が遅れていますが、本市にとって、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めていくうえで、欠かすことのできない事業です。早急に新たな立地場所を選定し、開設に向けて取り組んでいきます。

### ▼産業の活性化

本市の基幹産業である製造業については、社会的価値の高い「選ばれる企業」を増やしていくことが必要です。

半導体不足や原材料の価格高騰、さらに脱炭素の実現に向けた電気自動車へのシフトなど、市内企業を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えています。そこで、従来の生産性向上や経営力

の強靱化を図る取り組みに加え、SDGs（持続可能な開発目標）の推進や障がい者雇用、脱炭素の実現に向けて取り組んでいる企業を積極的に支援する事業を進めてまいります。

また、市内企業のPRとビジネスを推進する「綾瀬市工業アータベース」をリニューアルし「あやせ工場スマートナビ」を立ち上げました。ビジネスに活用するだけでなく、企業や働く人にも焦点を当てており、一般の方を対象に「ものづくりのまちあやせ」の魅力を発信す



あやせ工場スマートナビ

るものとなっています。

### ▼地域福祉社会の実現

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、非対面で行うことができるデジタル機器を活用した人との交流や、社会参加が広がっています。

高齢者が、アプリの活用により、仲間同士オンラインでつながりながら、地域で気軽に取り組むことのできるフレイル予防を実施してまいります。

認知症高齢者の増加に伴い、地域で認知症の人やその家族を支える「認知症サポーター」の更なる養成が必要となつていくことから、VR（仮想現実）を活用した認知症の疑似体験を



高齢者アプリの活用

加えた養成講座とフォローアップ研修を実施します。

### ▼子育て支援

一人親支援として、離婚にあたっての経済的相談や、養育費の必要性、公正証書等の手続き方法を支援する専門相談員を設置します。併せて養育費に係る公正証書の作成経費などを助成します。一人親世帯の貧困は深刻な問題であり、養育費の確保など、子どもたちを健全に養育する環境づくりを進めてまいります。

また、「おたふくかせ」は任意接種のため接種率が低いのが現状ですが、予防接種をすることで重症化を防ぐことができます。「おたふくかせ」は数年ごとに保育園や学校などで大規模な流行を繰り返し、感染すると耳の後ろが腫れるだけでなく、髄膜炎や難聴等の合併症を引き起こす場合があります。



で、接種費用の一部を助成し、接種しやすい環境づくりを行っています。

### ▼教育

子どもたちの好奇心や学習意欲を高めるため、市立小・中学校の児童・生徒に1人1冊の本を配布します。昨年、一昨年と2回にわたって、1人1冊を配布してきましたが大変好評でした。自分の本を持つことで本への愛着が生まれ、読書好きが増えることが期待できます。

加えて、学校図書館では、蔵書の充実や学校司書の配置時間を増やすことで、魅力的な居場所を提供し、

子どもの読書活動の推進を図ります。

また、公立高等学校等への進学に向けて、学習意欲や習慣の定着、基礎学力等の向上を図るため、放課後と夏休み、冬休みを利用した「中学生学び舎」を実施します。

地球温暖化の影響により、毎年、猛暑が続いていますので、児童・生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難生活の向上を図るため、小・中学校の体育館に空調設備を設置していきます。

### ▼都市の質の向上

市内の公共施設の多くが昭和40年から50年代に建てられ老朽化が進み、今後一斉に建て替え時期を迎えるため、計画的に整備していく必要があります。老朽化が最も進んだ北の台地区センターを解体し、その跡地に地区センターと蓼川自治会館を



北の台地区センター

複合した地域活動の拠点施設を建設します。

ごみの減量化も大きな課題です。家庭系可燃ごみの増加に伴い、焼却施設への負荷化が大きくなっており、更なる減量化が必要です。

そこで可燃ごみに混入した資源化可能な紙類の分別を徹底する取り組みを行います。併せて、ごみ収集所に出される剪定



ごみ袋イメージ

枝や草についても、新たな回収方法を取り入れます。

### ▼脱炭素化に向けた取り組み

市の公共施設において、太陽光発電設備の導入を計画的に進めていくため、施設ごとの状況や発電見込み量などを調査します。

また、終末処理場にお



終末処理場内での発電施設 (イメージ図)

る汚泥の減量化と温室効果ガス削減を目指して、汚泥の処理過程で発生する消化ガスを貯留する消化槽を建設し、消化ガスを利用して令和6年度から処理場内で発電事業を行います。

### 《令和4年度に向けて》

新型コロナウイルスの出現によって、社会は大きく変化しつつあります。人と人との新しい「つながり」やデジタル化などの変化を確実にとらえ、施策に反映していくことが、強靱な地域社会を創ることに なります。

綾瀬の特性を活かした、綾瀬らしい取り組みを、今後とも進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※2月に市政報告会を開催予定で準備を進めて参りましたが、オミクロン株の急拡大により中止しました。市政報告会で予定していました報告内容を本紙に掲載しました。

# 新年のご挨拶

小器凡器の独り言……

古塩まさよし後援会 会長 近藤 亘



令和4年 明けましておめでとつごいします。

会員の皆様にはご家族ともども清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に明け暮れた1年間でしたが、オリンピック・パラリンピックの日本人選手の活躍、真鍋淑郎さんのノーベル賞受賞、身近では笠間城治郎前市長の旭日小綬章の受章と喜ばしい事も多かったです。

あった一年間

でもありました。

コロナ禍については、ワクチン接種が進み、感染者は減少しておりますが、新たな変異株「オミクロン株」の発生など予断を許さない状況が続いております。ひき続きマスク着用、手洗い、うがいをを行うとともに、三密は避けるようお願いいたします。

本年の後援会活動につきましては、コロナ禍の中、できる範囲でなるべく実施したいと考えております。会員の皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 趣味 彩歳



「富士の見える綾瀬」(市長賞)

写真に魅せられて

吉岡支部長

古山 豊

景観美の感動を

写して、一枚の紙に再現できる楽しさを知り早や20年。昨年11月には撮り溜めた写真で個展を開くまでになりました。

写真には、見る写真と読む写真があることを教わってきました。

目に入る美の感動と心ある美の感動があることが、今になって自分でも分かるようになりました。

した。

私は古塩政由さん(現綾瀬市長)の作風に魅せられて、後者の写真を追求するようになり、今では数々のコンテストで入賞、入選をいただくまでにになりました。

現在は綾瀬写真協会の事務局長として写真文化の浸透と綾瀬市の地域活性化に力を注いでいます。

## 後援会 活動報告



◎令和3年11月18日 役員会

◎令和3年12月11日 支部長会議

◎令和4年1月8日 小役員会

◎令和4年2月 後援会便り

No.10 春号発行

※コロナ禍のため、2月開催予定「市政報告会」は中止となりました。

### お知らせ

綾瀬市ではフードロス解消と食料を必要としている方々への支援として「フードリンクあやせ」を開催しております。後援会の皆様方におかれましても、食料等の提供など、ご協力をよろしくお願いいたします。開催日時等は市広報をご覧ください。